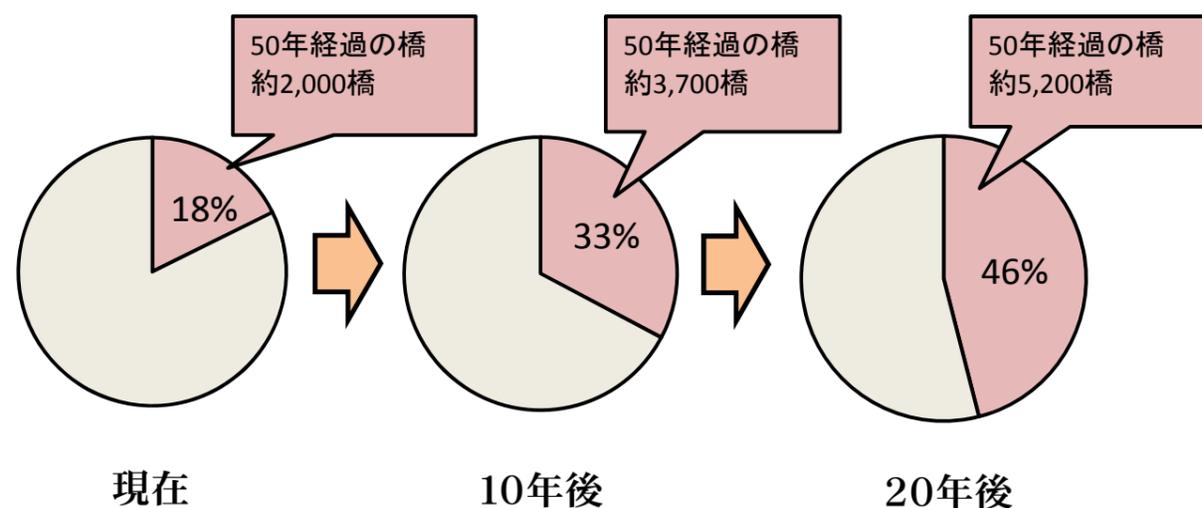


宮城県における橋の老朽化 の現状と見学箇所の概要

宮城県に道路橋（橋長2m以上）は、約11,000橋ありますが、**建設後50年以上経過した橋の割合は、現在18%で、10年後には33%、20年後には46%に増加します。**

【宮城県における50年を経過する橋の遷移】



施設名称	タイケンガドボク、ヨソフツジシユウセン 体験型土木構造物実習施設	
所在地	東北技術事務所内（多賀城市桜木）	
見学箇所	鋼箱桁（鋼橋塗装）	
	鉄筋コンクリート床版 PCポステンT桁 PC中空床版桁	
見学のポイント	◆コンクリートや橋の基礎知識について理解を深めることができます。 ◆コンクリートの打音調査について体験し、老朽化したコンクリートの状態を確認できます。	

橋梁名称	カシワバシ 多賀城橋	
所在地	多賀城市	
橋長	56.2m	
幅員	2.2m：車道17m（4車線）、歩道2.5m（両側）	
橋種	単純RCT桁橋・2連、単純PCポステンT桁橋・2連（上り側拡幅）、単純PCポステンT桁橋・2連（下り側拡幅）	
竣工年	昭和28年（築61年）	
管理者	東北地方整備局 仙台河川国道事務所	
見学のポイント	◆建設後60年以上経過した橋です。これまで様々な補修をしながら予防保全に努めています。 ◆コンクリート桁の老朽化が進行しており、対策工事に着手しています。	

橋梁名称	イッポンマツオオハシ 一本松大橋	
所在地	塩竈市	
橋長	132.5m	
幅員	1.4m：車道9m（2車線）、歩道2.5m（両側）	
橋種	単純PCプレテンホロー桁・3連、単純鋼箱桁、単純PCプレテンホロー桁・3連	
竣工年	昭和48年（築41年）	
管理者	塩竈市	
見学のポイント	◆建設後40年以上経過し、海からの飛来塩分の影響を受けやすい環境下で、伸縮装置や箱桁、舗装の老朽化が著しい橋です。 ◆現在、補修対策は未実施ですが、今後は予算をつけて補修する予定です。	